色とりどりの文化の華

長島町総合文化祭開催

11月6日から7日にかけ、第5回長島町文化祭が、長島町文化ホール、B&G海洋センター体育館で開催されました。

6日の前夜祭では、長島中学校吹奏楽部のオープニングで幕が開けられ、合唱やダンス、太鼓に日本舞踊などが披露されました。

7日の本番では、あおい幼稚園の鼓笛隊をかわきりに、前夜祭同様、各小中学校や団体がそれぞれ日ごろの成果を披露し、観客席からたくさんの拍手をうけていました。

この日の菊花芸術文化賞特別表彰では、昭和54年から菊栽培を始め、これまで長年の間栽培した菊を、文化祭会場や役場玄関に例年展示されていたことなどに対して、浜漉集落の江口豊さんが受賞されました。

江口さんは「扇形や木のかっぷ（株）を使った自分なりの方法で栽培してきた。菊栽培には、特別な技術が必要なわけではないが、菊を展示するまでは大変難しい。今後も体力が続く限り続けていきたい」とあいさつされました。

文化ホールのロビーでは、茶道部がお茶席（野点席）を設け、まこと保育園の園児は来客者などにお茶を出すなど、慣れないながらかわいい手つきで、一生懸命頑張っていました。

このほか、B&G海洋センター体育館内では、幼児や小中学校、一般から出品された書道や絵画、文化協会会員の短歌、手芸品、盆栽、陶芸、華道などいろいろな作品が展示され、来場者の目を楽しませていました。

会場入口に展示された江口豊さんの菊

会場内いっぱいの展示物

伊唐保育園の「よさこいエイサ琉球王」

なごみ会の日舞

大正琴同好会ではお孫さんも参加しました

長島書道会による掛け軸